

かみっこ

令和5年11月27日

地域みんなで子どもを育てる

校長 平澤 啓介

今年は、例年になくドングリなどの木の実が不作だったようで、その影響から神岡町でもクマの目撃情報が多く寄せられていました。10月末には、学校近くで男性が怪我をされる事故が発生し、それ以来、1カ月にわたって警戒しながら教育活動を進めています。

児童の登下校については、基督坂を通る通学班は相生通りや大津通りに迂回し、学校職員が危険箇所立って見守りを行っています。私自身も校門を離れて街角に立ち、児童の登下校の様子を見守っていますが、こうした非常時になって改めて、「地域の力」の大きさを感じています。



事故があった翌日から、神岡振興事務所や神岡警部交番のみなさんが、毎朝夕、欠かすことなく学校周辺や通学路のパトロールを続けてくださっています。保護者のみなさんも通学班の集合場所までお子さんを送ったり、お子さんと一緒に歩いて登校したり、できる範囲での見守り続けてくださっています。さらに、飛騨市役所の担当課では、学校周辺の草むらの下草刈りや不要な果樹の伐採を行っていただきました。地域のみなさんがそれぞれに「力」を発揮してくださった

おかげで、事故が発生した当初と比べ、ずいぶん安心して登下校できるようになったと感じます。こうした対応は、学校だけでは到底できませんので、地域や保護者のみなさんに感謝するばかりです。

今回の出来事を通して、安全面に限らず、子どもを中心に置いて、家庭・地域・学校が手を取り合うことが大切だと改めて考えています。子どもたちは、学校はもとより、ご家族や地域の方々の関わりの積み重ねのなかで成長する部分が大いと思うのです。これからも家庭・地域・学校が同じ願いをもって、それぞれの立場でできる関わりを続け、神岡町の子どもたちを「地域みんなで育てる」ことができたらと願っています。



11月に入り、体調を崩す児童が増えています。インフルエンザの流行期に入っていますので、お子さんの健康管理を引き続きお願いします。

- ①手洗いに加え、必要に応じてマスク着用などの対策をお願いします。
- ②体調が悪い時は、無理せずゆっくり休むようにしてください。